

# 第 1 号議案

## 第 19 期事業報告

### 1. 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

- 別紙 1 居宅等事業「フリースペース・うえるびー」
- 別紙 2 生活介護事業「おれんじ初倉 かりん」
- 別紙 3 就労継続支援 B 型事業「りんご」
- 別紙 4 共同生活援助事業「グループホーム陽だまり」

### 2. 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業

- 別紙 5-1 おれんじ柳町
- 5-2 おれんじ初倉
- 5-3 おれんじ坂口
- 5-4 おれんじ中溝・いちご

### 3. 障がいのある人への移動サービス事業

- 別紙 6 地域生活支援事業「移動支援事業」

### 4. ノーマライゼーション社会の実現事業

- 別紙 7 ノーマライゼーション社会の実現事業「ひだまりカフェ」

### 5. その他法人の目的を達成するために必要な事業

- 別紙 8-1 うえるびー研修
- 8-2 外部研修
- 8-3 委員会
- 8-4 理事会・総会

## 認定 NPO 法人フリースペース・うえるびー 第 19 期

事業報告書 2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

## 事業名

居宅等事業「フリースペース・うえるびー」

## 目的

## 〈居宅介護事業〉

利用者が居宅にて自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者の置かれている環境に応じて、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除などの家事並びに通院時における移動の援護など、生活全般にわたる介護サービスを行う。

## 〈重度訪問介護事業〉

重度の肢体不自由者で常時介護を必要とする利用者に対して、居宅での入浴・排泄・食事などの介護や、調理・洗濯・掃除等の家事など生活全般にわたる介護サービスを行う。

## 〈行動援護事業〉

知的障がいや精神障がいにより、行動上著しい困難を有する利用者に対して、本人の危険を回避するための援助、介護サービスを行う。

## 〈同行援護事業〉

視覚障がいを有する利用者に対して、外出時の移動支援や代筆などの援助、介護サービスを行う。

## 実施概要

## 〈活動実績〉

居宅等事業（居宅介護事業、重度訪問介護事業、行動援護事業、同行援護事業）

年間稼働日数 365 日

延べ利用者数 1,250 人

## 成果

### 〈居宅介護事業〉〈重度訪問介護事業〉

在宅酸素療法で暮らしている利用者の家事援助(買物、ゴミ出し等)、他に一人暮らしの利用者の家事援助(買物等)を行っている。

常時人工呼吸器を使用し24時間介護が必要な利用者が藤枝市に1名、牧之原市に1名おられる。藤枝市の利用者に対しては、月6回各1~2時間清拭や排泄介助に入っている。牧之原市の利用者に対しては、毎日支援に入っている。週2回の訪問看護、週1回の訪問入浴は、他事業所職員との協力により、24時間365日の在宅生活を支えている。

### 〈行動援護事業〉

19期は2名利用されている。内1名の方には2人体制で支援することにより、安全にサービスを提供することができた。

### 〈同行援護事業〉

現在、島田市3名、藤枝市1名、牧之原市1名、吉田町1名、計6名が利用されている。視覚障がいがあっても安心して外出する手助けになるように、ヘルパーも同行援護の資格を取得し、利用希望に対応している。

○前期には年齢により介護保険に移行したり、グループホームから別の施設へ転居したり利用者数の減少が危惧されたが、19期は同行援護、居宅介護、行動援護共に新規利用者が増えた。

○人材確保については、居宅介護、移動支援を休業した事業所から3名の方に、職員として加わっていただいた。(正規職員1名、登録ヘルパー2名)

## 今後の課題

### 〈居宅介護事業〉 〈行動援護事業〉 〈同行援護事業〉 〈重度訪問介護事業〉

1. 人材育成については、コロナ禍でできなかった対面の研修を予定している。1名の利用者に数名のヘルパーが関わっているので情報の共有をして、より良い支援に繋げていきたい。
2. 新型コロナウイルス感染症も、5類に移行したとは言え、まだまだ予断は許せされない。インフルエンザも流行りだし、特に重度訪問介護は細心の注意が必要となる。引き続き手指衛生と不織布マスクの着用など感染対策を徹底したい。
3. 職員の平均年齢も上がってきているので、引き続き人材確保に努めていきたい。

## 認定 NPO 法人フリースペース・うえるびー 第 19 期

事業報告書 2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

## 事業名

生活介護事業「おれんじ初倉 かりん」

## 目的

障害者総合支援法に則り、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、日常生活上必要な介護、創作余暇活動又は生産活動の機会の提供、その他の便宜を適切かつ効果的に行う。

## 実施概要

## &lt;活動実績&gt;

年間稼働日数 238 日 (2 日間は自主的に閉所)  
 延べ利用者数 3,148 人  
 実利用者数 17 名 (定員 20 名) 2023 年 9 月末日現在

## &lt;活動&gt;

役 務 提 供 : 企業からの下請 (DVD 解体、アラミド分別作業)  
 カネハチでの古紙・アルミ缶等資源回収

作 業 提 供 : 封筒スタンプ打ち、紙づくり、手動・電動シュレッター等  
 りんごのクッキー袋シール貼り、クッション材の制作等

行 事 等 : 金谷矢嶋さんの畑でのさつまいも・玉ねぎ・じゃがいも収穫体験、ワクワク体操、ハロウィンゲーム大会、にこにこしまだクリーン大作戦、かりんクリスマス会、合格駅よりトーマス見学、ジャンボ干支へのドライブ&ひだまりカフェお出かけ  
 島田市選挙管理委員会による出前講座、車いす利用者の体重測定、吉田公園チューリップ鑑賞、かりん夏まつりお楽しみ会、ヘアカット  
 スーパーへのお買い物体験、バラの丘公園お出かけ、退所される方のお別れ会

健 診 等 : 嘱託医による健診 (年 2 回)、看護師による健診 (月 2 回)  
 体組成計による健康チェック、歯のブラッシング指導 (島田市健康づくり課)

ボランティア : 1. 2 の会、しまだ紙芝居倶楽部、ポレポレ、有志のかき氷屋さん  
 学生ボランティア (高校生 2 名、中学生 2 名)

## &lt;実習受け入れ&gt;

藤枝特別支援学校 : 中学部 3 年生 2 名、高等部 2 年生 知的クラス 1 名、肢体クラス 1 名  
 高等部 3 年生 肢体クラス 2 名  
 吉田特別支援学校 : 高等部 2 年生 2 名、高等部 3 年生 2 名

## 成果

- 19期は、2階に1名の利用者が増えたが、2名の利用者がそれぞれの生活拠点に移行するために退所された。1階では、肢体クラスの卒業生がいなかったこともあり、新規利用者はいなかった。週5日利用する14名と週2回～3回利用する3名で、9月末現在契約者数は17名となっている。
- 新型コロナウイルスの感染が心配される中、かりんでは静岡県から抗原定性検査キットをいただき、職員は週2回の検査を実施して順調に滑り出したが、年明けに新型コロナウイルス感染者が急増し、やむなく2日間の閉所を余儀なくされた。利用者ご家族のご協力のもと、なんとか乗り越えることができた。市中の感染状況が波及して9月に再度感染者が急増したが、閉所はせずに収束に向かうことができた。幸い、利用者、職員、ご家族に重症化する方はいなかった。  
感染予防のため、お出掛けはグループごとに行くこととし、季節の行事では、あみだくじ、ゲーム、スタンプラリーなど事業所内でも楽しめるものを取り入れた。夏祭りではボランティアによるかき氷を提供していただき、利用者も楽しく活動することができた。
- かりんでは、作業活動を通して集中力が身につくよう、午前と午後の1時間程度を作業時間としている。利用者の特性に配慮した作業を提供し、目標を定めてやり遂げたら次の作業を提供することで、達成感を味わえるような取り組みをしている。企業からの内職は、18期から無くなったままで、更にDVDの解体やアラミドの分別も減少傾向にある為、古紙回収に特化して利用者の工賃を捻出している。
- 成人年齢が18歳に引き下げられたことにより、島田市の選挙管理委員会に選挙に関する出前講座を開催していただいた。初めての試みだったが、皆静かに聞くことができたのは素晴らしかった。
- 1階のかりんでは、医療的ケアを必要とする利用者もいるが、大きな事故もなく活動することができた。2023年内に、スペースが広がることを想定して、特別支援学校からの肢体クラスの生徒の実習を積極的に受け入れてきた。利用者の個々の特性や職員配置も考慮しながら1階と2階の利用者が交流する機会をつくっている。また、日常では味わえない体験や楽しみを提供するために、積極的に公園やお買い物体験などのお出掛けを増やしてきた。
- 月1回のミーティングは、1階と2階で別々に開催することにより、より深く担当の利用者のことを振り返ることができている。1ヶ月おきの半日活动終了後は、職員の研修に活用できている。
- かりんの2階の洗面所が車椅子の方には使いにくいと感じていたが、社団法人芳心会よりいただいた助成金により、改修することができた。また、経年劣化をしている送迎車についても、公益財団法人木口福祉財団の助成金に応募して、新車の購入代金の一部の助成をいただくことができた。

## 今後の課題

- 職員の知識や経験の幅を広げるような研修を実施し、支援の質をあげて利用者寄り添った支援を展開していきたい。そのためには、職員の意識改革も必要である。
- 肢体不自由の方や医療的ケアのある重症心身障害者の受け入れをしている1階のスペースは、2023年内に広がる予定であり、利用者が増えることを想定して支援員と看護師の増員が必要である。
- 新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症に注意しながら、非日常体験や更なる新しい取り組みを考え、利用者を楽しみと刺激的な体験を提供していきたい。
- 使用スペースの広がった初倉事業所を効率的かつ有効利用するために、整理整頓・清掃を徹底して、利用者のための個別のスペースを確保していきたい。

## 認定 NPO 法人フリースペース・うえるびー 第 19 期

事業報告書 2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

## 事業名

就労継続支援 B 型事業「りんご」

## 目的

障害者総合支援法に則り、利用者が自立した日常生活および社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他の便宜を適切かつ効果的に行う。

## 実施概要

## &lt;活動実績&gt;

|        |              |
|--------|--------------|
| 年間稼働日数 | 240 日        |
| 延べ利用者数 | 1,077 人      |
| 実利用者数  | 6 名（定員 20 名） |

## &lt;生産活動&gt;

自主製品製造： 焼菓子（クッキー、ケーキ、ブラウニー、シュトレン等）  
うえるびーの紅茶（リーフタイプ・ティーバッグタイプ、お試しサイズ）  
その他（ジャム、ゼリー、プリン等）、無農薬野菜、アクリルたわし

販 売 先： 島田市役所(にじいろ市場は休止中)、ひこばえ（よつ葉連絡会）、芭蕉庵、楓、  
オールしずおかベストコミュニティ、ジャパンバザール、スーパーカネハチ、  
大河原運送、金谷環境、ル・ポティロン、柴本製茶、伊太和里の湯、  
ウーマンラボ（ジンジャージャム）、チェルビック・プラス（量り売り専門店）、  
静岡県労働金庫、ネットショップ（BASE、しずパレ）等

イベント等： アイリーカフェ各種販売会、金谷地区合同文化祭「絆フェスタ maru」、  
農福マルシェ（オールしずおか）、てけてけ隊フェスティバル、うえるびー総会等

役 務 提 供： 企業からの下請（チラシ封入、DVD 解体、商品袋入れ、シール貼等の内職）、  
ひだまりカフェの配膳・清掃、施設外就労（レタス農家作業補助、社屋清掃）等

行 事 等： オリーブ・玉ねぎ・ジャガイモ・さつまいも等収穫体験、防災訓練、  
にこにこしまだクリーン大作戦、りんご通所開始式、  
お楽しみ会（クリスマス会、初詣、お楽しみタイム）等

健 診 等： 歯のブラッシング指導と体組成計による健康チェック（島田市健康づくり課）

## &lt;実習受け入れ&gt;

吉田特別支援学校： 高等部 1 年生 1 名、 2 年生 1 名、 3 年生 3 名

一 般 実 習： 2 名

## 成果

1. 前期の終わりに利用者 1 名が体調不良のため退所されたが、4 月から新たに 2 名の利用者を迎えることができた。現在さらなる利用者獲得の為、実習生、見学体験を積極的に受け入れている。
2. 学校の長期休みには、おれんじ利用中の希望者にも『お仕事体験』をしていただいた。日常的に不特定多数の人の出入りがある状況だが、利用者は皆それぞれに目標を設定して仕事に取り組むことが出来ている。
3. 19 期は新型コロナウイルス感染症の影響がありつつも通常の活動ができるようになってきた。しかし、休止となったまま再開できない内職や、時代の変化で取扱いが減ってしまった作業（DVD 解体）もある。そんな中、前期に新たな仕事として始めた施設外で行う農作業補助や会社社屋の清掃には、皆少しずつ慣れ、丁寧に行うのはもちろん、次にやるべきことを考えながら動くことを目標に取り組んでいる。農家の方、会社の方との関わりもいい刺激になっていると感じる。下請けの仕事では、得意な仕事だけでなく、できるだけ様々な作業に挑戦するようにしている。訓練により、できる事を増やし、作業の正確性、生産性を上げるべく、日々取り組んでいる。
4. 菓子製造では、参加できるイベントが増えており、毎回利用者数名が交代で販売員として参加することができた。お客様と接することに緊張してしまう利用者もまだ多いが、挨拶や紅茶の試飲の声掛け、商品のお渡し等、お客様に喜んでもらえる接客を目標に練習している。また、新たに SDGS を掲げた量り売りのお店や、太陽光発電パネルの下で栽培するレモンを使ったジンジャージャムを扱うお店との取引を始めた。定期的にジャム作りやクッキーの成形が必要で、19 期かりんから引き継いだ紅茶作業と合わせて、利用者が厨房でできる作業も増えている。
5. 畑での作業、体力作りのためのウォーキング、お楽しみタイムなど、気持ちをリラックスさせる活動を 19 期も継続的に実施した。特に畑作業では昨年から行っている土壌改良が進み、今までより格段に立派な収穫物が取れるようになっている。作業時に声をかけてくださる近所の方も増え、また市役所やイベントで販売することで、多くの方と触れ合うことができています。
6. ひだまりカフェでの接客は、感染状況を見ながら再開している。引き続き感染対策を行いながら、接客力の向上を目指していきたい。

## 今後の課題

1. 今年 4 月から 2 名が利用開始となったが、現在まだ人件費を捻出しきれていない。来年 4 月からも 2 名の新規利用を予定しており改善が見込めるが、更なる利用者確保のために、工賃の向上と活動内容の充実を図りたい。
2. 利用者増加に向けて、新たに 2 部屋を作業場所として登録し、落ちついて作業できる環境を整えたい。利用者それぞれの特性に合ったより良い治具や作業方法を常に考案し、提供していきたい。
3. 活動場所が 2 拠点であるが故の人員不足が課題である。もっと厨房に入りたいという声や、新たに送迎の希望が出てきているので、少ない人員配置の中で対応していく工夫がさらに必要になっている。
4. 今後、SNS を使うなどして活動を発信し、仕事を獲得していきたい。
5. イベント等に積極的に参加して、うえるびーをアピールしていきたい。

## 認定 NPO 法人フリースペース・うえるびー 第 19 期

事業報告書 2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

## 事業名

共同生活援助事業 「グループホーム陽だまり」

## 目的

障害者総合支援法に則り入居者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において相談、入浴、排泄又は食事の介護、その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うことを目的とする。

## 実施概要

1. 年間稼働日数 365 日 (2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日)
2. 延べ利用人数 3,570 人
3. その他
  - ①2023 年 3 月に女性が 1 名入居し、11 名（男性 8 名、女性 3 名）となった。（定員 13 名）
  - ②食事、入浴、服薬、健康管理など入居者の特性に応じた生活支援を行った。
  - ③日中活動先は次のとおり
 

|               |             |
|---------------|-------------|
| 生活介護事業所       |             |
| 「かたくりの花」 2 名  | 「空と大地と」 1 名 |
| 就労継続支援 B 型事業所 |             |
| 「希望の家」 5 名    | 「きらり」 1 名   |
| 「うるおい初倉」 1 名  | 「うたしあ」 1 名  |

 各事業所と情報交換をし、支援に役立てた。
  - ④食事提供は次のとおり
 

平日：朝食、夕食

休日：朝食、昼食、夕食

運動量の多寡を考慮し、カロリーを摂り過ぎないように食事の調整を行っている。また、野菜を多く摂取できるように工夫している。
  - ⑤休日の外泊については、本人と家族の意向を尊重した上で実施した。
  - ⑥休日の余暇支援として、移動支援を本人と家族の意向を伺い実施した。新型コロナ感染拡大、猛暑・雨天時の外部要因により中止、時間帯の変更・短縮を行った。
  - ⑦新型コロナ感染者が昨年に引き続き複数回発生した。夏場には入居者・職員に二桁の感染者が発生し、生活に大きな支障があった。感染症対策などにより不自由な生活の中、職員が考えている以上に落ち着いて過ごされた。

## 成果

1. 年齢、性別、特性等に応じた支援を行った。大きな事故もなく過ごしていただいた。
2. 業務の引継ぎを支援記録、連絡ノート、口頭で行い、職員会議を毎月開催した。入居者の変化、課題を共有し、支援の技術向上に努めている。

## 今後の課題

1. 9月末日現在、入居者は11名、特性に配慮した手厚い職員配置を行っているため、事業経費における人件費率は高い。
2. 19期、設備関係では 高圧洗浄機による排水管詰まりの解消、老朽化したスプリンクラーのエンジン・バッテリーを交換、落雷により破損した高圧受電設備ケーブルの交換等、多額の施設維持経費を必要とした。20期以降においても設備修理・交換が見込まれる。
3. 設備規模が大きいため高額な光熱水費がかかる。
4. 入居者の特性に応じた支援を行える職員の確保。
5. 北棟空き室（2室）の入居者確保。
6. 引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策及び発生時の対応。
7. 入居者の加齢に伴う健康管理。
8. 家族の高齢化に伴う外泊の中止、変更等への対応。

## 認定 NPO 法人フリースペース・うえるびー 第 19 期

事業報告書 2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

## 事業名

放課後等デイサービス「おれんじ柳町」

## 目的

児童福祉法等関係法令に則り事業を行う。

1. 障がい児の生活能力の向上のために必要な訓練を行う。
2. 社会との交流を図ることができるよう、身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。
3. 上記のために個別支援計画に基づき、必要なサービスを適切に行う。

## 実施概要

1. 年間稼働日数 249 日（うち土曜開所 10 日）

2. 延べ利用人数 1,579 人／1 日当の定員 10 人

3. 指導・支援の流れ

- ① 「おれんじ」到着後、うがい・手洗い、必要に応じて排泄と着替えをする。
- ② 課題ルームで個々の課題、または課題と宿題に取り組む。
- ③ 課題終了後フリールームで好きな事、企画している活動等をして過ごす（外出することもある）。
- ④ 帰りの会の当番や読み聞かせ、配膳の手伝い、食器洗い、帰りのあいさつ等、それぞれの役割をやり遂げる。

※上記の生活能力の向上のために、外から「おれんじ」に入るとき及び食事の前の手洗い、着替えや排泄、あいさつなど基本的な生活動作やコミュニケーションを繰り返し練習していることに対して、必要に応じた支援を行った。また、情報を視覚化する等、環境を調整することで子どもの理解を助ける方法を工夫している。

4. その他の活動

① 定期的なもの

- ・セラピードック来所 毎月 1 回（第 3 木曜日 16：00～16：45）
- ・ボランティアの方による読み聞かせ（2 団体、毎月 1 回ずつの計 2 回）
- ・図書館、公園等、近隣施設の利用
- ・避難訓練（年 2 回）
- ・お楽しみ会等（ハロウィン、クリスマス会、卒業生を送る会等）

② 長期休暇中

- ・昼食/おやつ作り（チキン南蛮、ちらし寿司、餃子等/スイートポテト、プリンアラモード等）
- ・工作、手芸（フォトフレーム、小物入れ、プラ板ブローチ、虫眼鏡カメラ等）
- ・買い物体験（調理の材料、お弁当、駄菓子、ソフトクリーム、ミスタードーナツ等）
- ・外食体験（サイゼリヤ、なかじま農園カフェ、しばちゃんランチマーケット等）

- ・お出かけ（国立印刷局静岡工場、ジャンボ干支、川根温泉・足湯、静岡空港、玉露の里、椿園、無人駅の芸術祭、法多山、時計ミュージアム、ばらの丘公園、吉田公園、工場見学等）
  - ・りんご『お仕事体験』（事前募集により4名参加）
  - ・アルバイト（大学生1名）、ボランティア（中学生2名、高校生4名）の受け入れ
- ③ 土曜開所（毎月1回、第3土曜日）※6月は希望者なし。8月は長期休暇のため行わず。  
（調理、お弁当作り、藤枝市郷土博物館～ドールハウス展～、めえめえカフェ、ふじのくに地球環境史ミュージアム、花沢の里、磐田市香りの博物館～ペネロペ絵本原画展～）

#### 成果

1. 藤枝・吉田特別支援学校、島田市内小中学校支援級、計8校の児童生徒に利用していただいた。また、新たな学校の利用者を獲得することができた。
2. 学校が違う子ども同士仲良くなり、お互いの苦手な面をサポートし合ったり、一人では難しいことをお友達と協力して成し遂げる姿や、上級生が下級生を気遣う姿が見られた。
3. 調理では、子どもたち自らが食べたい料理を決め、買い物の計画を立てている。
4. 買い物体験では、店の方とのやり取りを通し、支払いを済ませることができた。セルフレジやセルフ清算レジでの支払いにも慣れつつある。外食体験では、予算内で好きなものを選択するとともに、外食時のマナーを学ぶことができた。
5. 夏季休暇に、りんごでの『お仕事体験』を計画実施した。4名の利用者に参加していただいた。
6. コロナ禍ということもあり、去年に引き続き、室内で楽しめる工作や手芸の時間を多く提供できた。全員参加の活動以外に、子どもたちが自由に参加できる活動も多数企画した。完成した作品は、保護者にも喜ばれた。作品を完成する達成感を得るとともに、子どもたちの自信にもつながった。
7. 市内のボランティアの方（読み聞かせ、セラピードッグ）に、月1回の訪問継続をお願いできた。
8. 昨年度の卒業生2名は、本人の希望する就労継続支援A型事業所に進むことができた。
9. トイレトレーニング中の利用者が、トイレで排泄できる回数が増え、成長を感じるすることができた。
10. 保護者会（第1回）をスタートさせることができた。
11. 数名の卒業生が、職員とお友達に会いに来てくれた。自宅から車椅子で会いに来てくれるお友達、隣駅ほど離れた所から自転車であげに来てくれるお友達、仕事や買い物帰りに寄ってくれるお友達もおり、『居場所』としての役割を果たせていると実感できた。

#### 今後の課題

1. 引き続き、保護者との面談に力を入れていきたい。
2. 子どもたちの行動に目を向け、職員間で共有していきたい。特に、不適切な行動に関しては、保護者の理解を得られるよう、繰り返し、慎重に伝えていきたい。良い行動に関しては保護者に積極的に報告し、子どもの成長を共に感じる機会としたい。
3. 引き続き、送迎時の事故やスピード、マナー等には十分注意し、事故0を目指したい。
4. 地域の学校の文化祭や福祉施設等のイベント等への参加、地域のお店での買い物体験を増やしたい。社会参加を通して地域での認知度を高め、新規利用者の確保にもつなげたい。
5. 保護者会については、保護者の悩みや相談に沿ったテーマで検討したい。
6. 職員の募集をしているが、人材の確保が難しい。パート職員だけでなく、事務的な仕事も担ってもらえる正規職員の確保も急務である。少ない職員をどう配置していくかも、大きな課題である。
7. 19期は、利用者や家族の感染症罹患で大きな影響を受けた。引き続き、感染症予防に努めたい。

## 認定 NPO 法人フリースペース・うえるびー 第 19 期

事業報告書 2022 年 10 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

## 事業名

放課後等デイサービス「おれんじ初倉」  
 ※2023 年 4 月 1 日より「おれんじ坂口」と統合

## 目的

児童福祉法等関係法令に則り事業を行う。

1. 障がい児の生活能力の向上のために必要な訓練を行う。
2. 社会との交流を図ることができるよう、身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。
3. 上記のために個別支援計画に基づき、必要なサービスを適切に行う。

## 実施概要

1. 年間稼働日数 124 日（うち土曜開所 6 日）

2. 延べ利用人数 704 人／1 日当の定員 10 人

3. 指導・支援の流れ

- ① 「おれんじ」に着いたら、まずうがい・手洗い、必要に応じて排泄と着替えをする。
- ② 課題ルームで個々の課題に取り組む。
- ③ 各自課題終了後はフリールームで、好きな事、得意なことをして過ごす。
- ④ 帰りの会の当番、配膳の手伝い、食器洗いの手伝い、帰りのあいさつ等それぞれの役割をやり遂げる。

※上記の生活能力の向上のために、外から「おれんじ」に入るとき及び食事の前の手洗い、着替えや排泄、あいさつなど基本的な生活動作やコミュニケーションを繰り返し練習していることに対して、必要に応じた支援を行った。また、情報を視覚化するなど環境を調整することで子どもの理解を助ける方法を工夫した。

※思春期や不安定な時期などで納得して行動できない、行動の切り替えが難しいなどの場合には、ご本人の意思を十分に受け止め、折り合いをつけることができるようにタイミングを計りながらコミュニケーションを行うようにした。

4. その他の活動

① 定期的なもの

- ・避難訓練
- ・セラピードック来所 毎月 1 回（第 4 木曜日）
- ・おやつ作り 毎月 3、4 回（水または木曜日）  
ホットケーキ、おやつパン作り、かき氷等
- ・ギター演奏 週 4 回程度（16：30 頃～）

②長期休暇中

- ・施設見学（新金谷駅・プラザロコ、大井川鉄道「門出駅」「千頭駅」、水産技術研究所「うみしる」、深層水ミュージアム、グリーンピア牧之原等）
- ・交流や運動の活動（ゆうゆうランド、智者の丘公園、貝立公園、近隣公園）
- ・昼食作り（カレー、シチュー、焼きそば等）
- ・買い物体験（昼食作りに必要な食材等）
- ・お楽しみ会（ハロウィン、クリスマス会）

③土曜開所（毎月1回、第3土曜日）

（クリスマス会、ビデオ鑑賞、浜岡原子力館、あらさわふる里公園、クッキング等）

成果

1. 藤枝、吉田特別支援学校、島田市内小学校支援級（1校）、計3校の児童生徒に利用していただいた。
2. ギター演奏では機械音とは異なり、過剰な刺激にならず、心地よい音楽が聴ける時間となり、皆が楽しみにしている活動のひとつとなった。またリクエストなどで良好な関わりもできるようになった。
3. 他の子どもと関わるのが苦手だと感じていた子どもも、無理強いせずに空間を工夫することで、それぞれの場所で好きなことを見つれたり職員やお友だちとの関りが広がったり、成長が見られた。
4. 施設見学や散歩などの外出体験では、最初にルールやマナーを説明し、回数を重ねることで落ち着いて礼儀正しく行動出来るようになった。
5. クッキングでは必要な材料を話し合ってから買い物に出かけた。調理、片付けなどの過程を本人の興味や意欲に沿って体験、支援することができた。
6. セラピードッグに継続して来ていただいていることで、犬に関心を持って触れることができるようになった。また、おもちゃを使って一緒に遊んだり、おやつを与える経験をさせていただいたり、楽しく上手に関われるようになる等、成長が見られた。
7. おれんじ坂口との統合に至るまでに、保護者に丁寧に説明することでご理解いただき、3月31日をもっておれんじ初倉を廃止し、4月1日からおれんじ坂口と統合した。

## 認定 NPO 法人フリースペース・うえるびー 第 19 期

事業報告書 2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

## 事業名

放課後等デイサービス「おれんじ坂口」

## 目的

児童福祉法等関係法令に則り事業を行う。

1. 障がい児の生活能力の向上のために必要な訓練を行う。
2. 社会との交流を図ることができるよう、身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。
3. 上記のために個別支援計画に基づき、必要なサービスを適切に行う。

## 実施概要

1. 年間稼働日数 243 日（うち土曜開所 4 日）

2. 延べ利用人数 1,600 人／1 日当の定員 10 人

3. 指導・支援の流れ

- ① 「おれんじ」到着後、うがい・手洗い、必要に応じて排泄と着替えをする。
  - ② 課題ルームで個々の課題に取り組む。
  - ③ 各自課題終了後はフリールームで、好きな事、得意なことをして過ごす。
  - ④ 帰りの会の当番、配膳の手伝い、食器洗いの手伝い、帰りのあいさつ等それぞれ役割を遂行する。
- ※ 上記の生活能力の向上のために、外から「おれんじ」に入るとき及び食事の前の手洗い、着替えや排泄、あいさつなど基本的な生活動作やコミュニケーションを繰り返し練習していることに対して、必要に応じた支援を行っている。また情報を視覚化するなど環境を調整することで子どもの理解を助ける方法を工夫している。
- ※ 不安定な時期などで行動の切り替えが難しい等の場合には、ご本人の意思を十分に受け止め、折り合いをつけることができるようタイミングを計りコミュニケーションを行うようにしている。

4. その他の活動

① 定期的なもの

- ・避難訓練 ・図書館 毎週 1 回（金曜日） ・セラピードック来所 毎月 1 回（第 4 木曜日）
- ・ギター演奏 ・読み聞かせ ・植物栽培（パンジー、アリッサム等）
- ・工作（季節のランタン、クリスマス飾り等）
- ・おやつ作り（ホットケーキ、色々トースト、ジャム、おしるこ、ポップコーン、かき氷等）
- ・収穫体験（ピーマン、ナス、ゴーヤ、椎茸、お茶摘み、栗拾い、柿、みかん）

② 長期休暇中

- ・施設見学、外出体験（プラザロコ、音戯の郷、ふじのくに地球環境史ミュージアム、深層水ミュージアム、焼津市防災センター、島田市田代環境プラザ、浜岡原子力館、日本平動物園、浜松動物園、藤枝市郷土博物館、道の駅川根温泉、グリーンピア牧之原、法多山、静岡市美術館等）

- ・交流や余暇活動（貝立公園、蓮華寺池公園、さすき園、近隣公園、中央公園アスレチック等）
  - ・昼食作り（カレー、豚汁、焼きそば、お好み焼き、ホットドッグ、流しそうめん等）
  - ・買い物体験（昼食作りの食材、お弁当、花苗、工作材料、おやつ等）
- ③ 土曜開所（毎月1回、第3土曜日）※8月は長期休暇のため、9月は感染症予防のため行わず。  
（クリスマス会、ビデオ鑑賞、外出、買い物体験、調理、交流会参加等）

#### 成果

1. 藤枝、吉田特別支援学校、牧之原市内支援級、計3校の児童生徒に利用していただいた。
2. 今年度4月1日よりおれんじ坂口とおれんじ初倉が統合し、人数も増え混乱する場面もあったが、集団行動を無理強いせずに空間を工夫したり、職員と手厚く関わることで、それぞれが好きなことを見つかったり、職員やお友だちとの関りが広がる等の成長が見られた。
3. ギター演奏を楽しみにされている子どもも多く、4月から「片づけ→おやつ→トイレ→ギター演奏→読み聞かせ→帰りの会」という流れに変更した。演奏曲のリクエストなどで良好な関わりもできるようになった。また、帰りの会での読み聞かせを着席して聞いた時にもらえるご褒美シールも、楽しみになってきている。
4. 施設見学や散歩などの外出体験では、安全を考えた職員配置や、外出先にも理解を深めてもらえるよう説明をする等の配慮をした。同じ場所に何回か出かける、ツールを利用する等の工夫により少しづつ慣れ、落ち着いて行動出来るようになってきている。
5. 調理の日は買い物、調理、片付けなどの過程を、本人の興味や意欲に沿って支援することで、楽しく参加していただいた。
6. 買い物体験では、商品選びや支払い等、どこまでできるのを職員が理解することで、次の段階へのステップアップにつなげていけるように配慮できた。
7. りんごでの『お仕事体験』では、事前募集のうえ4名が参加した。体験の中で良い所や今後の課題が見えたり、りんごの職員からアドバイス・助言をいただき、本人にとっても良い経験となった。今後も続けていきたいと考えている。

#### 今後の課題

1. 個別サポート加算Ⅰや強度行動障害加算の対象になる支援に特に配慮が必要な方もいらっしゃる。本人やご家族の思いに寄り添いながら、学校や他事業所との連携を大切にし、一人ひとりの障がい特性や個性、能力、状況などを理解し、落ちついて安全に過ごせるような手厚い支援を行っていききたい。本人の状態や状況のみでなく、能力の向上につながる対応の仕方なども共有ノートの活用やミーティングなどで日々情報共有していきたい。それらを職員全体で理解することで、きめ細やかな支援につなげていきたい。
2. 研修や保護者会等を通して支援者のスキルアップのみでなく、ペアレントトレーニングなどにも力を入れていきたい。
3. 長期休暇の外出や集団活動については、子どもたちの意思を汲み取りながら、ストレスや無理のないように配慮しながら行っていきたい。
4. 今後も感染症や熱中症等のリスクや対策に配慮しつつ、地域交流や安全で楽しい活動を行いたい。
5. 今後も保護者・各機関や地域との連携はもとより、送迎時間の配慮、支援・活動内容の工夫、そして全事業所で協力していくことで利用者数の増加に努めていきたい。

## 認定 NPO 法人フリースペース・うえるびー 第 19 期

事業報告書 2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

## 事業名

放課後等デイサービス「おれんじ中溝」、児童発達支援「いちご」  
 放課後等デイサービス「おれんじはつくら」児童発達支援「いちご」(2023 年 9 月 1 日名称変更)

## 目的

児童福祉法等関係法令に則り事業を行う。

1. 主に重症心身障がい児を対象とし、医療ケア、機能訓練等必要に応じた支援を行う。
2. 社会との交流を図ることができるよう、身体及び精神の状況やその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。
3. 上記のために個別支援計画に基づき、必要なサービスを適切に行う。

## 実施概要

1. 年間稼働日数 239 日

2. 延べ利用人数 1,228 人／1 日当の定員 5 人

## 3. 指導・支援の流れ

- ① 学校へのお迎え。
  - ② 「おれんじ」到着後、手洗い、排泄介助、医療ケア等、個々に添ったケアを行う。
  - ③ 水分補給、おやつ介助。
  - ④ 課題やフリールームでの活動、機能訓練（月・水曜日）を行う。
  - ⑤ 帰りの会を行い、自宅まで送迎する。
- ※ 随時医療ケアを行う。

## 4. その他の活動

## ① 定期的なもの

- ・避難訓練：年 2 回
- ・誕生日会
- ・嘱託医による健診：月 1 回訪問（うち年 4 回内科健診）

## ② 長期休暇中

- ・おやつ作り
- ・創作活動
- ・買い物体験
- ・公園の利用、散歩

## 成果

1. 毎月、他事業所、相談支援事業所と一緒にモニタリングを行っている。情報の共有、支援の一元化が図れている。
2. 一人ひとりに合わせた適切な介助ができるよう、医療従事者や保護者に指導していただき、子どもに負担の無い介助を行うことができています。
3. 職員の声かけだけではなく、子ども同士の会話や関わりが増え、様々な表情を見ることができた。
4. 新規利用者1名が、2023年6月から利用を開始した。保護者の協力、他事業所との連携も図れ、落ち着いて利用できている。
5. 2023年7月半ばに、初倉事業所に引っ越しをした。場所が変わっても不穩になることなく、スムーズに移行できた。子どもたちの対応力に助けられ、成長を感じた。
6. 感染症に関しては、職員・利用者ともに罹患したものの、広がることはなく、重症化することもなかった。
7. 現在の契約者数は放課後等デイサービス17名、児童発達支援は契約者0名となっている。

## 今後の課題

1. 重症心身障がい児といっても、医療的ケアの有無、病状、身体状況等様々なので、活動内容や支援方法等、学校との連携を密にし、個別の対応を充実させていきたい。
2. 過度な先回りをせず、子どもたちのできることを継続、増やしていきたい。
3. 子どものできること、興味のあることを一緒に探し、楽しめる時間を増やしていきたい。
4. 支援している時も常に声をかけ合い、子どもたちだけでなく職員同士にも思いやりをもって仕事をしていきたい。
5. 感染症対策を引き続き行うとともに、子どもたちが安全に通所できる場を提供していきたい。
6. 今年度は3月に2名高等部を卒業する予定。近隣の重心対応の事業所が、来年4月から新規受け入れをしないとのことで、2名の方が見学にみえた。新規受け入れ態勢をとっていくことと、現在利用している子どもたちとの過ごし方も検討しながら進めていきたい。
7. 常時呼吸器を使用している子どもと保護者が見学に見えた。現在、看護師体制が整っていないため、母の付き添いが必要ではあるが、今後、利用するということを頭に置き、常時呼吸器を利用している方が通われている事業所の見学、研修をお願いしていきたい。

## 認定 NPO 法人フリースペース・うえるびー 第 19 期

事業報告書 2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

## 事業名

地域生活支援事業「移動支援事業」

## 目的

## 〈移動支援事業〉

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ、外出時における移動の援護を行う。単独での外出が困難な障がい者等の社会生活上必要な外出、余暇活動などの社会参加のための外出を支援する。

## 実施概要

## 〈移動支援事業〉

年間稼働日数 265 日 延べ利用者数 1,228 人

移動支援

1) 年度別対比 14 期 (2018 年) を基準

| 項目   | 利用時間数<br>(時間) | 指数<br>(%) | 売上<br>(円) | 指数<br>(%) | 売上/時間<br>(円) |
|------|---------------|-----------|-----------|-----------|--------------|
| 14 期 | 3,927.0       | 100.0     | 8,146,556 | 100.0     | 2,075        |
| 15 期 | 4,544.0       | 115.7     | 9,213,466 | 113.1     | 2,028        |
| 16 期 | 3,433.0       | 87.4      | 7,219,184 | 88.6      | 2,103        |
| 17 期 | 3,015.0       | 76.8      | 6,591,782 | 80.9      | 2,186        |
| 18 期 | 3,263.0       | 83.1      | 6,997,689 | 85.9      | 2,145        |
| 19 期 | 4,532.5       | 115.4     | 9,490,636 | 116.4     | 2,094        |

## 実施概要の説明

うえるびーは、移動支援契約を 4 市 2 町（島田市、藤枝市、牧之原市、焼津市、吉田町、川根本町）6 つの自治体とかわしている。新型コロナウイルス感染症の蔓延の為、ここ 3 年は焼津市の方の利用がなかったが、4 月より新規利用が始まった。他の 5 つの自治体の利用者は、引き続きサービスを利用してくださっている。

## 前期から報告している移動支援指数について

19 期の利用時間は、18 期と比較すると 1269.5 時間、売り上げで約 2,492,947 円上昇した。14 期基準では 115.4% の時間数、116.4% の売り上げで大きく上回った。1 時間当たりの売り上げも 2,094 円で基準年を超している（今回検討課題を分析していくため、データーを増やして集計した）。

## 各市町における利用状況と売り上げ

1. うえるびーの活動拠点である島田市の利用売り上げは、全体の半分以上の 57%を占めている。続いて牧之原市 21%、藤枝市 17%、吉田町、焼津市 2%、川根本町 1%となっている。
2. 島田市のイマジンが移動支援事業を休止したことに伴い、イマジンからの利用者を含め新規の利用者が 10 名増加した。併せて新しいヘルパーが 5 名増となっている。

## 成果

1. ヘルパーの質の向上に向けて虐待防止の研修に参加をした。
2. 前期から導入した ICF 整理シートを活用し、聞き取りと面談を進め、サービス計画書作成に役立てられた。(ICF 整理シートは、利用者の生活機能を的確にとらえるためのもので、わかりやすくアセスメント、モニタリング、サービス計画作成をプラス思考で進める事ができるもの)。
3. 面談ではいろいろ新たな発見があった。利用者の中には同じ作業所内で利用者同士が情報交換することがあるようで、今までは保護者やサービス提供者のすすめで目的地を決めていたが、自分で希望を伝える利用者も増えてきている。何人かのグループでの利用が多くなっている。定期的に移動支援を利用されることによって、利用者の心の安定や励みにつながっている。
4. 年々利用の契約が増えている。

## 今後の課題

1. 移動支援のサービス提供の多くは、登録ヘルパーが担っている。特に土曜日のヘルパー確保には苦戦している。ヘルパーの平均年齢も高くなって来ている為、若い年齢層のヘルパーが必要となってくる。それに加え、男性ヘルパーや、吉田・牧之原地区のヘルパー確保が急務となっている。
2. ヘルパーと利用者間では、保護者とのつながりを考慮し、思いやりも必要となる。希望を感じ、楽しさを伝える事ができる支援を心掛けたい。支援にあたってはマイナスの言葉がけでなく、プラスにつながるよう、言葉や態度で伝えていくことも職員で共有していきたい。
3. 利用者に満足感を持ってもらえる良き人材の確保にも努めたい。
4. 今後も感染症や熱中症等に十分配慮しながら、安全で安心して利用していただけるよう心掛けたい。
5. うえるびーは保護者の声かけから発足している NPO 法人である。これからも初心を忘れず、支援の向上に努めたい。

## 認定 NPO 法人フリースペース・うえるびー 第 19 期

事業報告書 2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

## 事業名

ノーマライゼーション社会の実現事業 「ひだまりカフェ」

## 目的

1. ひだまりカフェは法人の理念である「障がいがある人もない人もそれぞれが自分らしい生き方ができる地域社会をともに作る」を具体化するために、みんなの居場所として運営していく。また、子どもたちへの支援も行う。
2. グループホーム「陽だまり」の入居者及び就労継続支援 B 型事業「りんご」の利用者・職員に安全で健康的な食事の提供を行う。

## 実施概要

1. 年間稼働日数 364 日 (2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日)
2. 延べ利用人数等
 

|   |        |           |
|---|--------|-----------|
| ・ひだまりカフェ来店者   |        | 1,710 人   |
| ・CC キッチン等イベント   | 12 回開催 | 167 人     |
| ・ひとり親家庭   | 12 回   | 300 世帯    |
| ・学習支援利用者数   |        | 約 1,440 人 |
| ・子ども食堂 お弁当配布  |        | 400 食     |
| ・グループホーム入居者への食事提供   |        | 7,432 食   |
| ・「りんご」の利用者と職員への昼食提供   |        | 1,143 食   |
| ・ひだまりサロン (和室利用)   | 18 回開催 | 128 人     |
| ・お琴サークル (和室利用)  | 34 回開催 | 約 400 人   |
| ・ぴよんたの会、スマイルの会、リアンの会、支援級の会、手をつなぐ育成会等、障がい児者関係のサークルの活動が開催された。 |        |           |

## 3. 活動

## ① ひだまりカフェ

- ・地域の方や障がい者、子どもたちの来店を期待して運営を始めた。島田市、牧之原市、吉田町等の障がい児・者のグループや不登校児童を持つ親子のグループ、支援学級の保護者会等の交流会や研修会の場として利用いただいた。また、毎週木曜日に市役所でお弁当販売を継続している。

## ② CC キッチン (=子どもと障がい者の活動)

- ・島田市のつどいのひろば活動助成金をいただいて、ワークショップを開催している。
- ・ひとり親等支援の助成を受け、2022 年 10 月から 2023 年 3 月までお弁当配布 (400 食) と、お米やレトルト食品等の支援物資配布 (25 世帯) を月 1 回行った。2023 年 4 月から 9 月までは、フードバンクや静岡県のコロナ感染による自宅療養者への支援物資の在庫等をいただき、ひとり親家庭等への物資配布を継続した。
- ・CC キッチンでの子どもや親子の活動をInstagramにて配信した。

・小学生の学習支援として、宿題塾「ひだまり教室」を任意団体 Study Like Playing と協働で行った。教室移転後も、おやつやランチの提供等を継続して行った。

③ グループホーム陽だまり入居者への食事提供

・平日は朝食と夕食、休日は朝食と昼食と夕食を提供した。

④ 就労継続支援 B 型事業「りんご」への昼食提供

・定休日の火曜日を除く平日に、利用者と職員の昼食を提供した。

成果

- ①・ひだまりカフェでは就労継続支援 B 型事業「りんご」の利用者がウェイトレス、ウェイターとなってカフェのホールを担当してもらったが、礼儀正しく接客できた。
  - ・市役所でのお弁当販売は週 1 回 20 食から 30 食を持参し、概ね完売する。
  - ・近隣の方たちからお野菜などをたくさんいただいた。
- ②・CC キッチンの子ども食堂は、活動が周知され、寄付金や食材等の寄付が増えた（フードバンクふじのくに、カーブス島田、ベーカリーラボ、グリフィスフーズ株式会社静岡工場、認定 NPO 法人むすびえ、ミニストップ金谷店等）。また、ご近所の方々、昔からのうえるびーの支援者、島田市社会福祉協議会を通して、食品や寄付金をいただいた。
  - ・株式会社丸紅様から 10 万円の寄付金をいただいた。ロータリークラブ様からエプロン 10 セット、ライオンズクラブ様から冷蔵ショーケースをいただいた。さらに、真如苑から 20 万円、むすびえ様を通して厚労省からの『ひとり親等支援助成金』を約 210 万円いただいた。CC キッチンのワークショップは、島田市つどいの広場助成金 10 万円をいただいて活動している。
  - ・月 1 回のイベントは、徐々に参加者が増え、子どもと障がい者と保護者が楽しくもの作り体験をした。恒例のクリスマス会はミニストップ金谷店様、フードバンクふじのくに様、労働金庫様よりご支援いただいたものをプレゼントとして手渡した。約 120 名の子どもと障がい者が来てくれた。
- ③・グループホーム陽だまり入居者への食事提供では、各人の好みを把握しながら形状を変え、少しでも摂取してもらえよう工夫した。身長、体重、年齢、性別、運動量等を勘案し食事量を調整した。
- ④・就労継続支援 B 型事業「りんご」への食事提供は、安くてボリュームのあるものを提供できた。
- ⑤・島田市手をつなぐ育成会様から感謝状をいただいた。

今後の課題

1. ひだまりカフェの運営は厳しいものがある。単価の見直しを行ったが、それ以上に食材の価格が高騰し、採算改善の見通しは遠くなった。そんな中で多くの方々に利用してもらえよう、Instagram を活用した周知方法を工夫している。今後、新メニューを考案していきたい。
2. CC キッチンには障がい児者と子どもたちの交流が大きな柱となっている。専門の支援員の配置をすることで、より多くの障がい児者の参加を促せるのではないかと考えている。
3. グループホーム「陽だまり」の入居者や就労継続支援 B 型事業「りんご」の利用者・職員への食事提供も食材費高騰に苦しんでいる。単価の見直しは課題である。
4. 今後、ノーマライゼーション実現事業として、一人でも多くの方に「障がい」を理解してもらうための講演会や研修会等を企画したい。

別紙 8-1

この法人の目的を達成するために必要な事業

【うえるびー研修報告】

| 年    | 月  | 日  | 内 容                                       | 参加人数 | 担当部署    |
|------|----|----|---|------|---------|
| 2022 | 10 |    | 新型コロナウイルス感染症<br>拡大防止のため中止                 |      |         |
|      | 11 |    | 〃   |      |         |
|      | 12 |    | 〃   |      |         |
| 2023 | 1  |    | 〃   |      |         |
|      | 2  |    | 〃   |      |         |
|      | 3  | 15 | 障害者虐待防止法研修会<br>～利用者も職員も<br>幸せになる事業所になる方法～ | 50   | 虐待防止委員会 |
|      | 4  |    | 新型コロナウイルス感染症<br>拡大防止のため中止                 |      |         |
|      | 5  |    | 〃   |      |         |
|      | 6  |    | 〃   |      |         |
|      | 7  |    | 〃   |      |         |
|      | 8  |    | 〃   |      |         |
|      | 9  |    | 〃   |      |         |

## 別紙 8-2

## この法人の目的を達成するために必要な事業

## 【外部研修報告】

| 年    | 月  | 日  | 内 容                                      | 参加<br>人数 | 主催者                    |
|------|----|----|--|----------|------------------------|
| 2022 | 10 | 4  | 児童虐待初期対応について                             | 1        | 牧之原市                   |
|      |    | 14 | 〃  | 1        | 〃                      |
|      |    | 25 | 令和4年度 農業技術等向上実習⑥                         | 2        | *オールしずおか               |
|      | 11 | 5  | 令和4年度<br>在宅重症心身障害児対応多職種連携研修              | 3        | 焼津福祉会                  |
|      |    | 11 | 経営者必見！放課後等デイサービスの競争に勝ち<br>残る経営者セミナー      | 1        | (株)すららネット              |
|      |    | 14 | 重症心身障害児者対応支援従事者養成研修プロ<br>グラム             | 1        | 静岡県障害福祉課               |
|      |    | 24 | 令和4年度 サービス管理責任者等更新研修<br>【オンライン研修】        | 1        | 静岡県障害者政策課              |
|      | 12 | 2  | ヤングキャリアスタッフミーティング                        | 1        | 志太榛原地域自立支援<br>推進会議就労部会 |
|      |    | 6  | 令和4年度 サービス管理責任者等更新研修<br>【オンライン研修】        | 1        | 静岡県障害者政策課              |
|      |    | 9  | 発達障害講演会「発達障害について」                        | 5        | 島田市福祉課                 |
|      |    | 9  | 2022 サビ管ミーティング                           | 1        | 志太榛原地域自立支援<br>推進会議就労部会 |
|      |    | 15 | 牧之原市発達支援セミナー<br>「発達の気になる子どもの支援と理解」       | 1        | 牧之原市                   |
|      |    | 16 | 重症心身障害児者対応支援従事者養成研修プロ<br>グラム             | 1        | 静岡県障害福祉課               |
|      |    | 16 | 虐待防止・権利擁護研修                              | 1        | 静岡県障害福祉課               |
|      |    | 20 | 令和4年度 農業技術等向上実習⑦                         | 2        | *オールしずおか               |
| 2023 | 1  | 25 | 発達障害講演会<br>・発達障害について<br>・発達障害児支援とアタッチメント | 4        | 島田市福祉課障害者<br>支援係       |
|      |    | 27 | 実践研修報告会                                  | 5        | (社福)あしたか太陽の丘           |
|      |    | 30 | 令和4年度 農業技術等向上実習⑧                         | 3        | *オールしずおか               |
|      | 2  | 5  | しだはい はなそーかい                              | 4        | 志太榛原地域自立支援<br>推進会議     |

| 年 | 月  | 日  | 内 容   | 参加<br>人数 | 主催者                       |
|---|----|----|---|----------|---------------------------|
|   | 2  | 8  | 食品表示のポイントセミナー   | 2        | MAX 株式会社                  |
|   |    | 12 | 同行援護従業者養成研修応用過程                                       | 1        | 静岡県視覚障害者協会                |
|   |    | 13 | 令和4年度 虐待予防及び対応研修<br>「子どもの人権」を守る意味                     | 4        | 島田市こども未来部子育て<br>応援課子ども家庭室 |
|   |    | 15 | 静岡県障害者虐待防止・権利擁護研修<br>(虐待防止マネージャー／従事者コース)<br>【オンライン研修】 | 1        | 静岡県                       |
|   |    | 19 | 同行援護従業者養成研修応用過程                                       | 1        | 静岡県視覚障害者協会                |
|   |    | 25 | 重症心身障害児者対応支援従事者養成研修プログラム                              | 1        | 静岡県障害福祉課                  |
|   |    | 28 | 障害者虐待防止研修会<br>・障害のある方の虐待防止と権利擁護支援                     | 4        | 島田市福祉課                    |
| 5 | 8  |    | 令和5年度 農業技術等向上実習①                                      | 2        | *オールしずおか                  |
|   |    | 22 | 令和5年度 農業技術等向上実習②                                      | 2        | 〃                         |
| 6 | 16 |    | 介護職員 痰の吸引等研修 (基本研修)                                   | 1        | (特非)<br>ひまわり事業団           |
|   |    | 19 | 令和5年度 農業技術等向上実習③                                      | 2        | *オールしずおか                  |
| 7 | 7  |    | 令和5年度 農業技術等向上実習④                                      | 2        | 〃                         |
|   |    | 25 | 2023 サビ管ミーティング  | 1        | 志太榛原地域自立支援<br>推進会議就労部会    |
| 8 | 18 |    | 令和5年度 農業技術等向上実習⑤                                      | 2        | *オールしずおか                  |
|   |    | 19 | 重心対応看護師従事者養成研修  | 1        | 静岡県看護協会                   |
| 9 | 12 |    | 令和5年度 農業技術等向上実習⑥                                      | 2        | *オールしずおか                  |
|   |    | 13 | 令和5年度 しごと・くらし・こども・相談支援部<br>会の合同研修会                    | 1        | 島田市福祉課                    |
|   |    | 19 | 食品衛生委員会   | 1        | 島田食品衛生協会                  |
|   |    | 20 | でらーと実地研修  | 1        | 〃                         |
|   |    | 21 | 強度行動障害支援者養成研修   | 1        | 静岡県障害福祉課                  |
|   |    | 22 | 〃   | 1        | 〃                         |
|   |    | 29 | 児童虐待初期対応研修会<br>『これって虐待なの?と思ったら』                       | 1        | 牧之原市                      |

\* オールしずおかは、「オールしずおかベストコミュニティ」の略

## 第 19 期 委員会開催状況

### 『虐待防止委員会』

虐待防止委員会は 2022 年 4 月より正式に活動開始

- ◎ 2022 年 10 月 20 日（水） 2022 年度第 2 回虐待防止委員会 10 名出席  
内容：職員アンケート結果報告  
『虐待防止のための指針』『虐待防止対応規程』読み合わせ  
全職員対象の研修について  
グループワーク  
「障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の事例」－神奈川県－
  
- ◎ 2023 年 3 月 15 日（水） 虐待防止研修会（全職員対象研修） 51 名参加（うち外部委員 1 名）  
テーマ『障害者虐待防止法研修会  
～利用者も職員も幸せになる事業所になる方法～』  
講師：社会福祉法人あしたか太陽の丘 富士見学園施設長・鶴田安弘
  
- ◎ 2023 年 6 月 7 日（水） 2023 年度第 1 回虐待防止委員会 10 名出席  
内容：研修報告のまとめについて報告  
各事業所での取り組みについて報告  
グループワーク  
・研修会の振り返り  
・今年度の研修テーマについて意見交換  
なお、2023 年度第 2 回虐待防止委員会は、2023 年 10 月 25 日（水）に開催
  
- ◎ 2023 年 7 月下旬の 2 種類の職員アンケートを実施（回収 63 件）
  - ①職員セルフチェックリスト
  - ②職業性ストレス簡易調査

## 第 19 期 理事会・総会開催状況

※ 通常総会は議決権を持つ正会員の出席により、定款に定める事項の議決を行っています。

・毎年 11 月開催

※ 理事会は、理事、監事の出席により、状況報告、議案の審議を行っています。毎月定例開催

・第 19 期は 13 回開催

**2022 年 10 月 28 日 (金)** 理事会 場所：初倉事業所 出席 7 名 欠席 1 名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・陽だまり職員募集への応募者について

審議事項 ・総会について 役員の選任、借入金について ・職員の正規転換について

・消費税インボイスについて・・・令和 5 年 10 月の制度導入時は適格請求書発行事業者の登録はしない、今後必要となる場合は再度検討することとした。

**2022 年 11 月 11 日 (金)** 理事会 場所：初倉事業所 出席 7 名 欠席 1 名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・職員の退職について ・職員の採用について

審議事項 ・冬季賞与、処遇改善一時金について ・総会資料について ・購買稟議 (PC3 台)

**2022 年 11 月 26 日 (土)** 通常総会 場所：島田市金谷北地区交流センター 多目的ホール

出席 33 名 (正会員 26 名、一般会員 [報告者等] 4 名、来賓 3 名) 書面による表決 3 名

第 1 号議案 事業報告 第 2 号議案 活動決算・監査報告 第 3 号議案 役員の選任について

第 4 号議案 役員報酬について 第 5 号議案 第 19 期事業計画 第 6 号議案 第 19 期活動予算

第 7 号議案 会費の額について 第 8 号議案 借入金について

(理事会にて承認後、総会議案として議決)

**2022 年 12 月 23 日 (金)** 理事会 場所：初倉事業所 出席 7 名 欠席 1 名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・事故報告 (送迎車両の接触事故ほか)

審議事項 ・年末年始手当について ・陽だまり設備の修理について ・事務所移転について

・看護職員、重度訪問介護職員の求人について ・総務部署の検討

**2023 年 1 月 27 日 (金)** 理事会 場所：初倉事業所 出席 6 名 欠席 2 名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・他法人の総務課からの聞き取りの報告

・生活介護の看護職員の採用について

審議事項 ・おれんじ初倉/坂口の統合のための保護者説明会の開催について

・おれんじ中溝の移転について ・リース車両の買い取りについて

**2023 年 2 月 24 日 (金)** 理事会 場所：初倉事業所 出席 6 名 欠席 2 名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・イマジンの新設事業所の視察報告

・物価高騰支援金 (島田市/静岡県) の報告 ・職員の採用について ・虐待防止研修について

審議事項 ・おれんじ (坂口/初倉) 統合の進捗について

**2023 年 3 月 24 日 (金)** 理事会 場所：初倉事業所 出席 7 名 欠席 1 名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・陽だまり施設北側農地を駐車場に転用したのち貸り

るために手続きを進めることについて

審議事項 ・おれんじ初倉/坂口の統合のための車両の配置について ・他事業所の居宅介護、移動支援事業の休止による利用者の受入れ、登録ヘルパーの確保について ・おれんじ柳町、本部・居宅等の事務所移転について ・購買稟議（陽だまり消火設備）

**2023年4月28日（金）** 理事会 場所：初倉事業所 出席6名 欠席2名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・登録ヘルパーの採用について ・陽だまり新規利用者について ・重度訪問介護職員の採用について

審議事項 ・夏期賞与、処遇改善一時金について ・本部・居宅等の事務所移転について（継続審議）

**2023年5月26日（金）** 理事会 場所：初倉事業所 出席5名 欠席3名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・正規職員の採用について

審議事項 ・夏季賞与、処遇改善一時金について ・本部・居宅等の事務所移転について（継続審議）

**2023年6月23日（金）** 理事会 場所：初倉事業所 出席5名 欠席3名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・給与計算、明細発行システムのトラブルについて

審議事項 ・夏季賞与、処遇改善一時金の額の決定 ・柳町事業所の家賃交渉について

**2023年7月6日（木）** 理事会 場所：初倉事業所 出席6名 欠席2名

報告事項 ・陽だまり落雷による停電、復旧の報告 ・陽だまり消火設備の修繕完了の報告  
・柳町事業所の家賃交渉の報告

審議事項 ・本部・居宅等の事務所移転について（継続審議）

**2023年7月28日（金）** 理事会 場所：初倉事業所 出席6名 欠席2名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・おれんじ中溝の移転完了について

審議事項 ・パート職員の契約更新について ・本部・居宅等の事務所移転について（決定）  
・購買稟議（陽だまり空調設備）

**2023年8月25日（金）** 理事会 場所：初倉事業所 出席7名 欠席1名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・おれんじの送迎車両への置き去り防止装置配備について

審議事項 ・正規職員の昇給について ・第19期通常総会について－開催方法、日程、場所等について

**2023年9月29日（金）** 理事会 場所：初倉事業所 出席6名 欠席2名

報告事項 ・活動状況報告 ・管理者会議の報告 ・契約更新時の聞き取内容等の報告

・本部事務所移転の状況報告 ・居宅等の事務所移転について

審議事項 ・定期総会について 開催方法（決定）

役員、役員報酬、会費の額、借入金について、議案作成について（分担等）